

事業所名		セントラル・パーク てんま				支援プログラム		作成日		2025 年		1 月		20 日	
法人（事業所）理念		人生は楽しい！													
支援方針		私たちは、児童とご家族が笑顔で充実した生活を送ることを目指し、共に楽しみながら成長を支援します。													
営業時間		10 時		30 分		19 時		30 分		送迎実施の有無		あり		なし	
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	日常生活動作(ADL)の習得を促進し、自立した生活を目指します。 例 ①着替えや食事の練習 ②清潔保持の習慣化													
	運動・感覚	遊びを通じて、身体機能や感覚統合能力の向上を図ります。 例 ①ボール遊びやバランス運動で体幹を鍛えるプログラム ②サッカーを活用したコーディネーションを支援し、身体機能や協調性を養い、運動能力を高めます。													
	認知・行動	集中力や課題遂行能力を育てる活動を取り入れます。 例 ①パズルや問題解決型のゲームで達成感を体験します。													
	言語コミュニケーション	他者とのやり取りを楽しみながら、言語表現や理解を伸ばします。 例 ①会話カードゲームやグループ活動で表現力を育みます。													
	人間関係社会性	集団活動の中で協調性や思いやりを育てます。 例 ①チームゲームや役割分担を伴う活動を行います。													
	学習支援	個別およびグループ活動で学習スキルを育成します。 例 ①学校の宿題サポートをする。 ②簡単な計算ゲームや文字学習を取り入れ、集中力を向上させる。 ③PCやタブレットを使用し、自分で調べて学習できるようにする。													
家族支援		・保護者向け勉強会、相談会を開催し、家庭での支援方法を共有します。 ・ご家庭との連絡ツールで日々の支援進捗を報告します。						移行支援		・就学や社会参加へのスムーズな移行を目指します。					
地域支援・地域連携		・地域の学校や医療機関と連携し、学習や健康面のサポートを行います。						主な行事等		・季節のイベント(初詣、節分、夏祭り、運動会、ハロウィン、クリスマス会など) ・地域交流活動(地域スポーツ大会参加など)					
職員の質の向上		① 定期的な研修の実施 - 発達支援に関する最新知識を共有する社内研修を月1回開催 - 外部専門家を招いての講習会を年4回実施し、支援スキルを向上 ② 職員間の連携強化 - ケース会議を週1回実施し、支援方法やプログラムの改善を議論 - 先輩職員による新人指導や定期的な振り返りミーティングを実施 ③ 自己研鑽の促進 - 資格取得支援制度を導入し、職員が専門資格(例：児童発達支援管理責任者資格)を取得できるよう支援 ④ フィードバックの充実 - 保護者や児童からのフィードバックをもとに、対応方法やプログラムの質を改善 - 年1回の職員評価制度を導入し、目標設定と成果の共有を行う													